

児童クラブ入所者を募集します

問 富士見町教育委員会 子ども課 子ども支援係 ☎62-9237

富士見・本郷・境小学校児童クラブの入所者を募集します。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から入所説明会は行いませんので、入所を希望される方は、子ども課 子ども支援係（役場2階⑩番窓口）までお越しください。クラブ利用に当たっての留意事項の説明をお聞きのうえで、申請書等をお受け取りください。

ご不明な点につきましては、お問い合わせください。

【対象児童】 1年生から6年生までの児童で、保護者が就労等により日中家庭にいない児童

【開設日】 ① 登校日（土・日・祝日を除く）

- ② 長期休業日 ・夏休み（土・日および8月13日～8月16日を除く）
・年末年始休み（土・日および12月29日～1月3日を除く）
・春休み（土・日および3月31日を除く）

③ 計画休業日

【開設時間】 登校日 下校時～午後6時45分まで
休業日 午前8時～午後6時45分まで
（夏休み、年末年始休み、春休み、計画休業日）

【書類提出期限】 令和3年1月29日（金）まで

【提出先】 子ども課 子ども支援係（役場2階⑩番窓口）
※学校・保育園への提出はできません。



「教育のまち・子育てのまち・学び続けるまち富士見」を目指して

富士見町 教育委員会だより

第180号

令和2年12月1日発行
富士見町教育委員会編集
☎62-9235
kodomo@town.fujimi.lg.jp

International Day (インターナショナルデー)

本郷小学校のインターナショナルデーが10月28日に行われました。

この日はそれぞれの学級にELT (English Language Teacher) が入り、5・6年生の教室では、ELTが英語で自己紹介をしたり、母国の文化を紹介したりしました。子ども達もELTに英語で質問をしたり、クイズに答えたりしました。

英語絵本の読み聞かせがあったり、給食のメニュー放送をELTが行ったりと、英語に親しんだ1日でした。



12月
定例教育委員会
12月9日(水)
午前9時30分～
役場2階 教育長応接室
傍聴歓迎

子どもに関する
なんでも相談
月曜日～金曜日
午前8時30分
～午後5時15分
☎62-9233
家庭・教育・子育て
相談員

12月20日
(第3日曜日)は
家庭の日・
家庭読書の日
家の大掃除や片付けを家族で協力して行い、良い年を迎えましょう。



11月定例教育委員会報告

11月12日に開催された11月定例教育委員会で協議した主な内容をお知らせします。

議決事項

・富士見町児童クラブ設置要綱の一部を改正する要綱他 ↓ 全員一致で可決

報告事項

〈教育長より〉

- ・新型コロナウイルス感染症対応
- ・住民懇談会について（ICT教育の推進等）
- ・市町村教育委員会連絡会（11月）報告
（教職員の働き方改革、インクルーシブ教育
非違行為根絶等）
- 〈子ども課より〉
- ・コミュニティ・スクール進捗状況、南諏校長
会報告・園長会報告、児童手当に係る学校
給食費等の徴収について、12月補正予算
〈生涯学習課より〉
- ・諸事業について、12月補正予算

検討事項

・子どもの貧困対策

・公共施設個別施設計画（教育施設）について
〈その他〉

・教育委員活動報告、11月～1月行事予定
*詳しくは町ホームページをご覧ください。

豆腐店見学 (境小学校)

11月13日、境小学校の2年生が生活科で育てている大豆がどのように加工され、食卓に届いているのかを学ぶため、両国屋豆腐店で豆腐作りを見学しました。

煮えた大豆がおからと豆乳に分かれて出てくる様子や、豆乳ににがりを入れると固まっていく様子など、豆腐作りの工程を間近で見せてもらい、分かりやすくていねいに教えてもらいました。子ども達は質問をたくさんして、聞いたことをしっかりメモにとりました。できたての豆腐も見せてもらうことができました。

これから2年生も学校で豆腐作りをする予定です。



保育園 七五三お参り

11月13日、町内の保育園では、近くの神社に七五三のお参りに出かけました。

富士見保育園は、園児100名ほどが秋葉神社へ行きました。

区の方がお宮の戸を開けて、色とりどりの風船を飾ってくれていました。

区長さんが、子ども達の健やかな成長を願ってお祓いをしてくださり、みんなでお参りをしました。



はじめの一步 Part 12

子どもの感情「いやいや」「ぐずぐず」と、どう付き合う？

お母さん方から、「朝、忙しいのに全然ご飯を食べてくれず遊びだしたり、ふらふらしたり…ダメだよと、言うとうずうずになってしまうし、ほんとイライラします」「私が忙しいときに限ってぐずぐず言うので、怒っちゃいます…そして、後で反省します…」等、様々な話が聞かれます。日々の生活の中で、お



父さん、お母さんは子どもの「いやいや」「ぐずぐず」に付き合うのは大変です。「もう少し、親の気持ちを察してよ…忙しいんだから…」「いいかげんにして…」と、放っておく…心に余裕がないと…分かってはいるのに…等々親側の心の声ですね。こんな時、子ども側はどんな気持ち？「いやいや」「ぐずぐず」の感情を思いきりぶつけ、何とかしてほしいSOSかも。自分では処理できない、立ち直れない気持ちで助けを求めているかもしれません。

昔から子育てにおいてスキンシップは大事と言われていています。子どもの機嫌が良い時に一緒に遊んだり、抱っこをしたりは親も子も気分よく満たされた時間になります。ところが「いやいや」「ぐずぐず」している子どもに対しては、抱っこしたり、スキンシップをとったりするのは、簡単ではないように思います。

「いいかげんにしなさい」と、ついつい放っておいたりもするでしょう。まだまだ、感情のコントロールが未熟な乳幼児期の子どもにとって、放って置かれたり、強い言葉を放たれたり、不安感、恐怖心が強く残るのではないかと思います。楽しいときの感情は親子で共有できますが、問題が起きた時はお互いの感情を共有するのは難しいですね。それでも、問題が起こった時こそ抱きしめて受容してあげましょう。「〇〇したかったんだね」「悲しかったね」「〇〇で怒ったんだね」等、子どもの感情を言葉にして、根気よく付き合っただけでいいことが大事ではないかと思います。抱きしめられて安心し、落ち着いたところで話をすると、案外スムーズに話を聞いてくれるかもしれません。それらの経験、積み重ねが感情のコントロールの基礎を培っていくものと思います。

